

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

炭焼きにまつわるお話

ZFCに入会させていただいたのは何年前の事だろう。はっきり覚えていない。当初半年ほどは活動をしていたが、その後土曜日に都合がつかなくなり数年間お休み状態。今年の春先から休みながらではあるが再び活動を始める事ができた。

入会のきっかけは近くをハイキングしていた時、横浜自然観察の森を偶然知った。お話を聞いてみると所属するクラブへ参加すると自然の森により親しめるとの事。そのクラブの紹介を受けていると『炭焼き』という言葉にこれだと思った。横浜に炭焼俱樂部があるんだと思うと楽しかった。

父方の祖父が昔、村の外部から炭焼き職人を招き農業とともに炭焼きを行っていたそうだが、いまは面影もない。父も子供のころ手伝いをしていたようだ。炭焼きから発する煙の色の変化、釜の中に置く木の配置、焼き時間とか聞いていても知らない事ばかりだ。そんな事も手伝いいつかは炭焼きで生計をたてるというのが夢のまた夢。冗談のようだが半分本気であこがれを持っていた。炭焼きという仕事は昔から採算のよいものではなく、おそらく炭を焼いてたまに来訪する商人への売りでは売り方が圧倒的に不利。けっきょく自ら販路を開拓しなければならないのだが、いずれにせよ炭焼き単独で生計はままならず、農業・林業・養蚕との兼業をしなければならなかったようだ。しかし、よほどの田舎でないかぎり炭焼きなんてできるはずがない。そんなおり観察の森の説明会で炭焼きという言葉を知り迷わずZFCに入会を申し込んだ。

ZFC入会后、もし炭焼きで生計をたてるとしたらダンボール1箱分の炭をいったいいくらで売らなければならないのだろうか考えた。毎春横浜球場隣で開催されるフェスティバルのため売り物となる炭をダンボール一箱作成させるためにどのくらい工数がかかったのか。木を大勢の人で切り出し、実際の炭焼き、販売作業、スタッフの管理作業と考えていると炭焼き小屋生計計画は気が遠くなった。炭焼きにあこがれた理由の一つとして火を燃やすという行為がとにかく好きで、子供のころ始終火遊びをしては叱られていた。そして入会。入会后まもなく徹夜の炭焼き当番をさせていただいたときは本当にうれしかった。しかしそう毎回毎回炭焼きのイベントがあるはずもなく入会当初は小さな釜で炭を焼いたり、竹炭液の作成をお手伝いした。

燻製作りはこわくないのだが液体だとちょっと油断するといつ爆発するのか怖くてビクビクしていた。かといって日曜大工のようなものもまったくダメ。中学の技術ではラジオを組み立てても聴こえない。椅子を作ったが座れない。本箱には本が入らないという代物だった。草刈とか造成のような事もまるでダメ。これも実家の話で恐縮だが、大掃除・庭の草刈・芝刈、丸でだめ。いつも怪我ばかりしていて、そのうち両親も私にはまったく家の手伝いを頼まなくなった。

そうはいってもZFCの主要業務として木工製造・森の手入れがある。さてどうしたものかと考えていた。自宅から自然の森まで片道1時間40分かかかる。たまに来るならいいのだが退会をしようかなと思っていた所、炊事を当番制で行っているという事がわかってきた。これだと思った。食事を作るのが好きで本当を言えばサラリーマン生活は止めて、家で毎日食事を作っていたくらい。しかも毎回こちらの食事では炭で火をおこせる。これが実に楽しい。往復3時間以上かけてもこれだけ炭を焼いたり調理をさせていただければ、こんなに楽しい事はない。

私はあまり参加状況がよくない。長期の出張で参加したいも危ぶまれるが、炊事当番として扱っていただき、当日の炊事当番の方は声をかけて下さい。そしてまた炭焼きができればと楽しみにしている。

知見 実

1. 8～9月の活動報告

- ① 8月28日(土)晴 17名 クヌギ林下草刈り、20周年記念標柱製作、炭小屋整理
- ② 9月4日(土)晴 25名 池ノ上下草刈り、竹林整備、ドラム缶窯炭材詰め
- ③ 9月11日(土)晴 19名 トウネズ間伐(長倉口方面)、竹林整備
- ④ 9月18日(土)晴 19名 桜林下草刈り、トウネズ間伐(長倉口方面)、運営会
- ⑤ 各水曜日ほかに準活動日として木工作业を実施



遠くから見ると右のような状況が一年も経たずにジャングル状態に…。自然の力は凄い！



竹林の中にぽっかり浮かんだ秘密基地、じゃなくて竹を死に物狂いで伐ったエリア('09年秋)。



猛暑で野菜の出来は今一と言われましたがよく採れました。もちろん「知見さん」作？。

2. 9月度運営会報告 —9月18日開催—

- ① 2010年下期計画 参照:<http://zfc.yamagomori.com/secondhalf10.html>
 - ・ 2005年策定の「観察の森 雑木林ゾーンの保安全管理計画…」で殆ど未着手であった炭小屋周辺の人工林の整備を開始する。調査～作業路整備～間伐の順で進める(2011年初めから間伐を目的)
 - ・ キャンドル in さかえ 11月20日(土)に参加する。テーマは「囲炉裏」
 - ・ 横浜栄高校三世交代交流会:12月16日(木)13時～(運営会後判明)
- ② 10月の作業打ち合わせ —3項参照—
- ③ 20周年記念事業について
 - ・ バッジ・記念誌・標柱(門柱)・チラシ改訂とも概ね順調に進捗
 - ・ パーティの出席確認を進める(友の会等ZFC会員以外)

3. 10月度活動予定

- ① 10月2日(土) 炭小屋周辺の林整備(調査)、トウネズ除伐、20周年式典準備。味噌汁係:竹内、山田、下谷
- ② 10月9日(土) 20周年記念式典(11～14時)
- ③ 10月16日(土) 竹林整備、炭焼き(本窯・ドラム缶窯)、運営会・ゴロ報印刷製本(午後)。同:上野、加藤、関根
- ④ 10月17日(日) 炭焼き、森ボラ対応、ゴロ報発送作業。藤原、佐藤、張間、関根、(大庭)
- ⑤ 10月23日(土) 20周年式典予備日。製材、炭小屋整理、道具手入れ、クヌギ林管理作業。同:片岡、赤羽、張間
- ⑥ 10月24日(日) 友の会・収穫祭
- ⑦ 10月30日(土)および毎水曜日:準活動日

4. 編集後記

- ① 巻頭コラムは知見さんです。知見さんの炭に対する感慨がよく伝わってきます。モノには作る立場と使う立場が必ずあります。その両方の思いがコラボレーションされてより良いモノが生まれていきますので、使う立場を楽しむことは大切だと思います。長期の出張が入るそうですが時間をみつけて炭で食事を作りに来てください。
- ② 今年はハチの被害もなく猛暑も乗り越え何とか無事に秋を迎えられそうに思っていましたら、チャドクガの被害に上野が遭ってしまいました。右上半身がやられ風呂にも入れず辛かったそうです。クヌギ林のどこかにツバキ科の樹があったのでしょうか。チャドクガはまだこれからの時季にも発生するようなので気をつけましょう。
- ③ いよいよ10月9日(土)がZFC20周年記念式典ですが、以降の下期は体力・気力を整えて安全に効率よく作業をこなしたいと思います。そのために、間伐スキルを維持し高める訓練も必要ですので、訓練のできるツールを武田さん片岡さんをお願いしました。ツールが完成したら積極的に訓練をしていきましょう。
- ④ 10月17・18日炭焼きメンバーが足りません(現在、鬼塚・村松2氏)。ご協力をお願いします。

以上